

達成度：

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

民生担当参事の目標（平成20年度）自己評価書

民生担当参事 矢部 雄幸

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 住民活動への支援（住民協働課）</p> <p>住民が行う自由で自発的な公益活動を支援するとともにまちづくりに参画しやすい環境づくりを構築する上で住民活動を積極的に推進するために住民協働課を新設し、各種の事業に対し最高20万円の補助金を交付することにしました。</p> <p>また、対象事業を選考するうえで公募委員を含めた審査委員会を設置します。</p>	5	<p>補助金を交付するうえでの公平で明確な基準づくりを検討する必要があるが、20年度に補助した事業は適正に行われ、評価できるものと考えます。</p>
<p>2 健康予防事業の実施（住民課・健康福祉課）</p> <p>ガン、心疾患、脳血管疾患の3大生活習慣病が増加し医療費が伸びる中、超高齢社会を迎える将来を見すえ、去年まで実施していた住民検診を各保険者ごとに行うことになり国民健康保険に加入している40才以上の方々を対象に、メタボリックシンドローム対策としての特定健康検診や保健指導も実施します。</p>	4	<p>事業については全て達成しているが基本となる本人の健康への自覚を植え付ける方法について検討する必要がある。</p>
<p>3 環境美化事業にむけて（生活環境課）</p> <p>緑豊かで自然に恵まれている酒々井町を守るうえでゴミゼロ運動や不法投棄等監視員によるパトロールや散乱ゴミ収集の他のボランティア団体による清掃活動を実施していますが、今後は全町的に協働のまちづくりという観点から美化意識の向上を図るようPRするとともに展開方法を検討していきます。</p>	4	<p>不法投棄等監視員の努力の他、ボランティア団体や地域住民による清掃活動は増加傾向にあるが、全町的には浸透してはいないと思います。</p>
<p>4 人権意識の向上（人権推進課）</p> <p>人権問題に対する意識は近年高まってきてはいますが、内容があらゆる面において複雑・多岐にわたっていることからまだまだ浸透していないのが現状です。</p> <p>そこで、「相手の立場にたって考えるという理念」をモットーに、啓発活動や相談業務の他関係機関との連携充実に努めます。</p>	4	<p>人権意識の向上を図る上で共通の認識を持つという点でそれぞれの考え方に温度差がある。</p>

<p>5 重要施策への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康ビジョン、高齢者福祉保険計画、介護保険事業計画等の見直し事業への助言・調整（健康福祉課） ・町民公益活動の新規補助事業に対する支援（住民協働課） ・特定健康診査等新規事業に対する助言・調整（健康福祉課・住民課） ・一部事務組合(清掃組合、葬祭組合、衛生管理組合)の情報収集、助言・調整（生活環境課） 	4	概ね対応したものとするが評価は第三者から見た客観的な判断が重要になると思います。
<p>6 チャレンジ目標</p> <p>平成20年度は、高齢化社会に向けての生きがいづくりや協働による住民参画を促進するための町民公益活動への支援を目的とした住民協働課の新設の他、健康課と福祉課の連携をスムーズにすすめるうえで2つの課を健康福祉課に統合しました。住民課においては内臓脂肪症候群に着目したメタボリックシンドローム予防対策としての特定健康診査や特定保健指導などが新たに実施されます。また、町全体の健康や福祉関係事業を集約している健康ビジョンや高齢者保健福祉改革・介護保険事業計画等の見直しを業務等の作業もあり、多岐にわたっていることから各課の連携をより一層密にしながら各課の事業が円滑に推進するよう努めるとともに、今後の酒々井町の健康づくりへむけての方向性もけんとうしていきます。</p>	4	少子高齢化が進み国の施策に改正も多く町民ニーズも多岐にわたる中、各種事業が円滑に推進するよう努めました。今後も引き続き健康づくりを核として進めていきます。